

# 自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 電源開発株式会社 高砂火力発電所

## 1 環境保全活動に関する方針等

### 1 - 1 環境保全活動に関する方針

高砂火力発電所は、発電設備の保安を確保し、電力の安定供給に努め、地域及び環境との調和を目指した事業活動を継続しています。今後も関係法令及び地域との協定事項を遵守して、地域社会・関係各所とのコミュニケーションを図り、企業の社会的責任を果たしていきます。

そのため、安全衛生・環境・品質・自主保安の管理活動に関する所長方針を定め、全従業員に周知し、実践します。所長方針は以下の通りです。なお、より良い事業活動の実現のため、事業活動実施結果を適切に評価し、運営管理システムの継続的な改善に努めます。

#### (環境方針)

事業活動に伴う環境への影響を従業員1人ひとりが認識し、汚染を予防し、環境影響を低減するため、設備の効率的な運転の維持及び省資源、省エネルギー対策に取り組むとともに、廃棄物の適正管理、資源のリサイクル化に努めます。

#### 【目標・計画等】

環境保全活動	目 標	目標達成のための計画、方策
事務所の使用 電力量 省エネの推進	事務所の節電に努める。	昼休みのOA機器の停止、照明の消灯等による節電
社有車の燃料 使用量 省エネの推進	社有車運行の効率化を図る。	・残業量を削減することによる通勤バス運行台数の削減 ・アイドリングストップ等活動の推進
廃棄物対策	発電所から発生する廃棄物を適正に処理するとともに有効利用の促進に努める。	・関係法規制や会社で定めたガイドライン等に従い適正な処理、管理を行う。一般廃棄物に関して、分別収集を徹底する。 ・月1回の廃棄物パトロールの実施
グリーン調達 の推進	調達目標：事務用品(文房具類)96%、コピー用紙100%	JPOWERグリーン調達ガイドラインに基づく購入

環境マネジメントシステム	ISO 14001認証を着実に維持する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認証機関による更新審査の受審</li> <li>・ 内部監査</li> </ul>
環境教育	環境保全に関する従業員教育の徹底	環境管理に関する教育、研修、訓練
地域の環境保全活動への参加	環境諸行事への積極的な参加、地域社会の一員として積極的なコミュニケーションに努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域との交流、見学者の受入れ</li> <li>・ 行政主催行事への参加</li> <li>・ 発電所関係周辺の清掃活動</li> </ul>
環境コミュニケーションの実施	環境保全活動に関するホームページ等を通じた広報活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境保全への取組み状況をホームページ（播州コム）に掲載する。</li> <li>・ 来客者に対するパンフレット等による広報活動</li> <li>・ 高砂市環境学習プログラム「エコ教室サポートガイド」事業への参画</li> </ul>

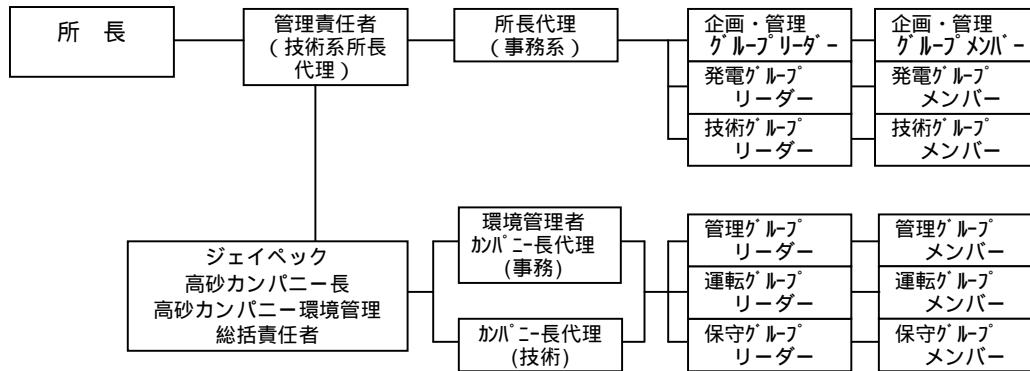
1 - 2 環境保全活動に関する組織体制

電源開発株式会社 高砂火力発電所

所長	最高責任者
技術系所長代理	管理責任者（運営管理システム） 環境業務に係る統括管理、所長を補佐
事務系所長代理	事務的業務全般の執行統括 所長を補佐
企画・管理グループ	環境関係総括業務、危機管理に関する業務他
発電グループ	運転部門 発電設備運転、運用管理（環境管理に関する業務を含む）、燃料・灰処理、港湾管理業務
技術グループ	保守部門 発電所保守、技術総括管理、環境対策設備の維持、管理

(株)ジェイパック高砂カンパニー： 発電所と一体となって環境管理業務の推進を図る

カンパニー長	環境管理総括責任者（ジェイパック高砂カンパニー業務所掌範囲）
カンパニー長代理（事務）	環境管理者（同上） 事務的業務全般の執行統括、カンパニー長を補佐
カンパニー長代理（技術）	技術的業務全般の執行統括、カンパニー長を補佐
管理グループ	調達業務、廃棄物収集管理他
運転グループ	運転部門 排脱及び排水処理設備運転業務、揚運炭業務
保守グループ	保守分門 発電所保守業務



## 2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画
事務所の使用電力量 省エネの推進	空調温度設定（夏期28、冬期20）の徹底、昼休みの照明消灯等の取組みにより、一昨年度に比べ使用電力量に節電効果が見られた。	空調温度設定、昼休みの照明消灯の継続等省エネに努める。
社有車の燃料使用量 省エネの推進	ノー残業デー時の社有バス減台運行を継続中であるが、対外対応による社有車運行の増加により、燃料使用量が前年度に比べ8%増加した。	現行の社有バス運行を継続、社有車2台をハイブリッド車へ更新する。
廃棄物対策	関係法規制を遵守するなど廃棄物の適正処理、管理に努め、廃棄物パトロール実施を徹底した。オフィス紙ゴミについては、コピー用紙の両面使用による発生量削減に努めた。また、ダンボール、古新聞・雑誌を子ども会に提供した。	引続き廃棄物の適正処理、管理を徹底する。
グリーン調達の推進	JPOWERグリーン調達ガイドラインに基づき、グリーン調達率コピー用紙100%、事務用品（文房具類）96%以上を達成した。	引続きグリーン調達率の維持に努める。
環境マネジメントシステム	外部審査を受審し、ISO 14001認証登録の更新が承認された。	引続きISO14001認証の維持に努める。
環境教育	平成22年度計画に従い、環境教育、訓練を適宜実施した。6月の環境月間において、「環境保全協定」に関する勉強会を実施した。	引続き環境保全に関する従業員教育を徹底する。
地域の環境保全活動への参加	発電所見学者受入れ、地域住民への発電所開放デーの実施、環境月間行事（発電所周辺、海浜清掃活動、花いっぱい運動）の実施、環境フォーラム・研修会等への出席	引続き地域の環境保全活動への参加に努める。
環境コミュニケーションの実施	発電所ホームページ等による環境活動に関する広報活動を実施した。	引続き環境活動に関する広報活動を行う。